

# き 輝なんせ鳥取

## ひと ひと 女と男とのハーモニーフェスタ

2013.12  
第20号

10月5日(土) 国府町中央公民館において  
「第21回<sup>ひと</sup>女と<sup>ひと</sup>男とのハーモニーフェスタ」が開催されました。



オープニング: 傘踊り (国府町因幡の傘踊り保存会)

### — 目次 —

- 第21回<sup>ひと</sup>女と<sup>ひと</sup>男とのハーモニーフェスタ … 2・3
- 新着図書紹介 …… 5
- 男女共同参画絵手紙コンテスト  
入賞作品 …… 4・5
- インタビュー<sup>ひと</sup>女と<sup>ひと</sup>男  
大森タクシー(株) 前田 明美さん … 6

第21回

# ひとひと 女と男とのハーモニーフェスタ

夢に向かい 支え合い 共に歩もう 未来へと！！

平成 25 年 10 月 5 日土曜日、万葉の古里国府町中央公民館にて、第 21 回女と男とのハーモニーフェスタが開催されました。

国府町で発祥し、今や鳥取県を代表とする郷土芸能へと発展した「因幡の傘踊り」で幕が開け、鳥取市消費者団体連絡協議会による寸劇、男女共同参画絵手紙コンテストの入賞作品の発表・表彰、そして国際宇宙サービス代表の山崎大地さんによる心温まる講演で締めくくりました。

講演

## 「宇宙主夫。妻と娘と夢を追いかけて」

講師：山崎 大地さん (有)国際宇宙サービス代表



レポート

1

山崎大地さんの夢は宇宙管制官、奥さんの夢は宇宙飛行士、2人は結婚し、やがて娘さんが生まれた。奥さんが宇宙飛行士として訓練を受ける中で、子育てと親の介護は大地さんが全面的に引き受けることになるが、訓練期間は何年にも及び、大地さんはとうとう会社を辞めてアメリカで娘さんの世話をすることになった。親の介護はアメリカから2～3カ月に1回日本へ帰国して行く。宇宙飛行士という仕事は本人も大変だが、家族にも過酷だ。大地さんのアメリカで働きたいという思いも前例がない

という壁に阻まれてしまう。行き場を失い、うつ病を発病しても家族を支え続けなければならない。

最後に象徴的なオーロラの話がされた。空を帯のように横に拡がって見えるオーロラは宇宙から見ると極を中心に円を描いているそうだ。1つの事柄も視点を変えたら、全く違って見えてくるに違いない。大地さんが行く手を塞がれた制度や組織がもっと広い視野を持って対応してくれたら、うつ病にならなかったのではないかと考えた。

(記：岸本編集委員)

レポート

2

実を言うと当初、高学歴・高収入のお洒落イケメン主夫山崎氏のお話に共感できるか一抹の不安を抱いていた。酷い偏見である。だが、お話を聞くにつれ、家事や子育て・介護を一手に引き受ける方の経験した焦燥感や閉塞感、かつて自分も身に覚えがあったことを思い出していた。主夫(主婦)を経験した方なら誰もが共感を覚える内容であったのではないだろうか。

「仕事」は「夢」である場合もあるし、「生活のための手段」でもある。だが、「夢」のために生活が蔑ろになるのは残念なことであるし、「生活のための手段」が家事や子育てを圧迫するのでは本末転倒である。この国で働きながら子育てや家事・介護

をすることは、何故これほど辛いことなのだろう？

人は、自分の知っていることや興味のあること以外の事柄について、想像力を駆使するのは難しい。傍目には何の問題もなく、世界をまたに活躍している方が、介護や家庭生活で大変なご苦労をされていることなど、お話を聞くまで思いも及ばなかった。男性用トイレにおむつ交換台が無いことも、宇宙飛行士の配偶者は海外生活でアルバイトひとつ出来ないことも、妻が死と隣り合わせの職業に就いているのに夫に対する遺族年金制度がないことも、新たに知ることばかりであった。想像力と人を思いやる気持ちを忘れていたことを、深く恥じた講演会であった。

(記：伊藤編集委員)



# 寸劇

## 赤ずきんちゃん

### = 悪徳商法への対処 =

出演：鳥取市消費者団体連絡協議会



レポート 3



他人事だと思っていたら、ある日1本の電話でまんまと多額のお金を取られてしまう・・・そんなことが日常茶飯事に起きているのが現実です。

今回の寸劇は「おれおれ詐欺」や「悪徳商法」などを未然に防ごう！と、鳥取市消費者団体連絡協議会の皆さんが中心にパロディー版「赤ずきんちゃん」を披露しました。

悪徳商法の手口を「赤ずきんちゃん」でユーモアたっぷりに表現され、笑いの中でしっかりと啓発もされていました。

明日は我が身！！皆さん、気をつけましょう。

(記：センター職員)

# 表彰

## 男女共同参画絵手紙コンテスト



レポート 4



今年も「絵手紙」を通じて、普段から男女が性別に捉われることなくそれぞれの役割を果たしながら、共に生きる社会を意識していただくきっかけになるようにと実施されました。一般の部4人、小中学生の部38人の応募、作品は一般の部12点、小中学生の部40点と多くの応募をいただきました。ご応募いただいた作品はテーマをよく理解され、絵と言葉のつながりもたいへんよく、心が和む作品が多かったと感じます。

おめでとうございます。

(記：センター職員)

注：入賞作品は4～5Pで紹介します。

# 会場風景





# ★男女共同参画 絵手紙コンテスト 入賞作品★

男女共同参画について考えてもらい、より身近なものとして感じてもらうように今年度は「絵手紙」(テーマ: 支え合う 家族で仕事で 未来へ)を募集したところ、一般の部 12 点 4 人、小中学生の部 40 点 38 人の応募がありました。

応募作品の中から「最優秀賞」「優秀賞」「入選」に選ばれた方を表彰しました。

表彰式は、平成 25 年 10 月 5 日(土) 第 21 回女と男とのハーモニーフェスタにおいて行われました。

最優秀賞

## 一般の部



山本 栄美子 さん

## 小中学生の部



小谷 美紀 さん  
(鹿野中学校 3 年)

優秀賞



谷口 里美 さん



高木 彩花 さん  
(南中学校 3 年)



田中 勝則 さん  
(宝木小学校 2 年)



加藤 絵美 さん  
(鹿野中学校 3 年)





幡 加代子さん



坂本 麻菜さん



亀本 尚子さん  
(醇風小学校2年)



齊藤 花歩さん  
(城北小学校3年)



縄田 美香さん  
(湖山小学校6年)



山原 静花さん  
(鹿野中学校3年)



橋野 香澄さん  
(鹿野中学校3年)



門脇 梨々華さん  
(南中学校3年)



## 新着図書を紹介



### 「ペコロスの母に会いに行く」

岡野 雄一 (著) / 西日本新聞社

認知症の母親とのやりとりが、実に軽妙で愛に満ちており、微笑ましい。  
人の生き方・老い方・死に方はそれぞれであり、介護のありかたもまた人それぞれなのである、という、この漫画を広めるきっかけとなった詩人・伊藤比呂美さんの寄稿に深く首肯させられる。  
涙と鼻水でぐちゃぐちゃになりながらもただ悲しいだけでなく、雨上りの夕陽を眺めたときのような、何とも言えない深い想いが胸に湧き上がってくる読後である。

### 「宇宙家族ヤマザキ」

山崎 大地 (著) / 祥伝社

宇宙飛行士の妻を支えるために「主夫」という道を選んだ筆者。  
「主夫」の焦燥感や閉塞感は「主婦」のものとなんら変わらないどころか、それ以上に陰しい道であった。  
「主夫」をもてはやされる一方で「ヒモ」「ニート」などと揶揄されながらも、夢を諦めたその先に新たな夢を見出した、筆者の不屈の信念に勇気づけられる。

- ★「マイ・レジリエンス ト라우マとともに生きる」中島幸子 (著)
- ★「女性ホームレスとして生きる」丸山里美 (著)
- ★「クオーター制の実現をめざす」赤松良子 (著)

他にもたくさんあります。ぜひご利用ください!



# インタビュー 女と男

大森タクシー株式会社で乗務員をされている前田明美さんにお話を伺いました。

大森タクシーに勤める前田明美さんは、ドライバー歴5年の女性運転手である。

約50人の運転手のうち女性は2人、勤務体制は男性と同じだそうだが、仕事を辛いと感じたことがないそうだ。

もともと車を運転することが好きで、30年前には大型貨物、10年前には二種免許を取得した。更に今は、鳥取市の観光マイスターの認定も取っている。

子育てが終わり、前の仕事を定年で辞めたあと、タクシーの運転手に。

「ハンドルを握ると元気になる」と言われるとおり、明るく元気だ。

お客さんが乗ってこられたら、まず「今日はいい天気ですね」と声をかけ、お客さんがどんな気持ちでいたいのか感じてコミュニケーションをはかる。



(前田さん)

困ったことは、どうして女性運転手になったのか質問攻めにあうことくらい。

女性運転手を、と指名してこられる人も多くなった。高齢の方や、目の不自由な方などのお客さんが望めば、買い物を手伝うこともある。

休日はあらかじめ分かっている行程の下見をすることもある。

カニの季節はカニ一ラ、今はトリピーを頭にかぶって観光案内をする。

とにかくお客さんに楽しい時間を過ごしてもらいたいとの思いが原動力になっている。

(記：岸本編集委員)



前田さんが  
勤めている  
会社はこちら



## 大森タクシー株式会社

本社：鳥取市南安長1丁目2-18

電話：0857-22-8575 (貸切バス)

0857-23-6511 (タクシー)

FAX：0857-23-3388

Mail oomori@tabinet.co.jp

URL <http://www.tabinet.co.jp/bus-oomori.html>



**【輝なんせ鳥取】**  
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311番地 (鳥取市福祉文化会館内)

TEL (0857) 24-2704 FAX (0857) 20-3052

E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp

URL <http://www.city.tottori.lg.jp/>